

2024年2月17日(土)夜『神聖で繋がり合う日』メール前文と始めの話

2024年2月17日(土)夜 『神聖で繋がり合う日』 メール前文

始めに、PDFファイルとして添付している『人間と真実の生き方』『人類即神也の宣言文』『我即神也の宣言文』『本心』を添付しましたので、ご覧になったことのない方は、それをお読みのうえでここから先の文章をお読みください。

私達が神聖そのものの響きを、自身の想念・言動行為に嘘偽りなく顕わし生きてゆくためには、『人間と真実の生き方』や『我即神也・人類即神也の宣言文』に書かれている内容を私達が行ないに顕わし、当然認識になるまで自己のものとする必要があります。なぜなら、そこに書かれている内容は、人間の本来性や神聖意識の観点、神聖存在としての想念・言動行為が書き表されているからです。しかし、一足飛びにその心境になれるものではありませんし、一朝一夕にその本来性を思い出せるものでもありません。

そこで、その前段階のマインドセット（意識の初期設定）として、『人間と真実の生き方』の冒頭に書かれている「人間は本来、神の分靈（わけみたま）であって、業生（ごうしょう）ではなく、つねに守護靈、守護神（しゅごじん）によって守られているものである。」という事実を、当たり前のように思えるようになる練習が大切だといえます。

それに関連したお勧めできる練習方法は、『人間と真実の生き方』『我即神也の宣言文』『人類即神也の宣言文』を、それぞれ繰り返し繰り返し声に出して読み、何度も何度も紙に書き記し続け、そこに書かれていることをうますたゆまず実践し続けることです。そうしているといつの間にか、私達の精神領域内における旧い価値観が淨まってゆき、生命の内奥に初めから実在していた神聖意識が表面化してきます。

これら三つの文章は、“一つマスターしたら次へ進む”というように、順番にマスターしてゆくようなものではなく、同時進行で進めてゆくことで、意識の内に絶大なる効果を発揮するものであると信じています。

私自身はそれにプラスして、生命の源の意識が分身たる人類ひとりひとりへ向けて「御身たちよ」と語りかけ、この世の在り方とそこでの生き方を諭している詩『本心』（貼付ファイル参照）も加えて、四つの文章を、繰り返し声に出したり書き写したりしながら意識に染み込ませ、潜在意識の底まで光明波動を行き渡らせるやり方を40年近く行なってきました。

そのようにしている内に、知らない間に心が光明一元に変わってゆき、「いかなる地球上の出来事、状況、ニュース、情報に対しても、又、人類の様々な生き方、想念、行為に対しても、且つ又、小智才覚により神域を汚(けが)してしまっている発明発見に対してさえも、これらすべて「人類即神也」を顕すためのプロセスとして、いかなる批判、非難、評価も下さず、それらに対して何ら一切関知せず。」と書かれた『人類即神也の宣言文』の一節が、「そうあるのが本当に生命本来の意識であり、それこそがあらゆる把われの想いを手放した神聖意識の在り方である」と思うに至りました。

また、先週の『動画による祈りの会』で次のようなお話をありました。

“この世の有り様や人類の動向を「出来上がった完成形・結果・結末である」と捉えれば、「何故？」「どうして？」と思ってしまうところを、「すべては自分や人類が進化創造してゆくプロセスなんだ」「地球の人類が神に至る道のりにおける状況でしかないんだ」と捉えれば、「いかなる地球上の出来事、状況、ニュース、情報に対しても、又、人類の様々な生き方、想念、行為に対しても、且つ又、小智才覚により神域を汚(けが)してしまっている発明発見に対してさえも、これらすべて「人類即神也」を顕すためのプロセスとして、いかなる批判、非難、評価も下さず、それらに対して何ら一切関知せず。」の箇所を、脳内の自動思考を働かせることなく、有りのまま(真理を忘れた人類が作り出した消

えゆく姿)と在るがまま(宇宙理念の現象化した実在)を決め付けることなく受け容れることができるようになる。”

上記の話を素直に受け容れられる場合は、そのままの意識が神聖の視座であり、俯瞰の立ち位置に意識があるといえます。土曜日の夜はすべてをプロセスとして捉える意識を持って、五感に映し見る「良い・悪い」「好き・嫌い」「強い・弱い」「賢い・賢くない」といった二元対立の見方を超えて、すべてを心の内に抱(いだ)く無限なる慈愛の心境で、地球の大自然と生きとし生けるものと人類すべてに、いのちの源からの光を放ってまいります。

2024年2月17日(土)夜 『神聖で繋がり合う日』 始めのお話 2分

皆様、こんばんは。夜のズーム祈りの会を始めます。本日はメールの文章の後半にも書きましたように、自分や他人・人間社会の在り方・大自然や生物たちの現状に感じられるあらゆる想いを、「これらは皆プロセスである」「すべては道の途上の出来事である」と見定めて、善悪正邪の判断を下さず、あらゆる現状の奥に、神聖の煌めきを認める意識で祈り、印を組んでまいります。

また、本日のプログラムは次のような流れで行ないます。はじめに約9分の世界平和の祈りを行ないます。次に『人間と真実の生き方』『我即神也の宣言文』『人類即神也の宣言文』『本心』の詩の読み上げを間に挟んで、地球世界への感謝の印を行ない、一呼吸4秒で神聖復活の印を七回組んで、最後に三分半の世界平和の祈りで終わりにいたします。また、時間が余るようでしたら、世界平和の祈りの前に、追加のお祈りとして世界の災害地と紛争地に宇宙神の光を送る祈りをいたしますので、よろしくお願ひします。

それでは、世界平和の祈りを日本語と英語で行なってまいります。

《人間と真実の生き方》 1分40秒

人間は本来、神の分霊(わけみたま)であって、業生(ごうしょう)ではなく、つねに守護霊、守護神(しゅごじん)によって守られているものである。

この世のなかのすべての苦悩は、人間の過去世(かこせ)から現在にいたる誤てる想念が、その運命と現われて消えてゆく時に起る姿である。

いかなる苦悩といえど現われれば必ず消えるものであるから、消え去るのであるという強い信念と、今からよくなるのであるという善念を起し、どんな困難のなかにあっても、自分を赦(ゆる)し人を赦し、自分を愛し人を愛す、愛と真と赦しの言行をなしつづけてゆくとともに、守護霊、守護神への感謝の心をつねに想い、世界平和の祈りを祈りつづけてゆけば、個人も人類も真(しん)の救いを体得出来るものである。

《我即神也の宣言文》 1分55秒

私(わたくし)が語る言葉は、神そのものの言葉であり、私が発する想念は、神そのものの想念であり、私が表わす行為は、神そのものの行為である。

即ち、神の言葉、神の想念、神の行為とは、あふれ出る、無限なる愛、無限なる叡智、無限なる歓喜、無限なる幸せ、無限なる感謝、無限なる生命(いのち)、無限なる健康、無限なる光、無限なるエネルギー、無限なるパワー、無限なる成功、無限なる供給……そのものである。それのみである。

故に、我即神也、私は神そのものを語り、念じ、行為するのである。

人が自分を見て、「吾(われ)は神を見たる」と、思わず思わせるだけの自分を磨き高め上げ、神そのものとなるのである。

私を見たものは、即ち神を見たのである。私は光り輝き、人類に、いと高き神の無限なる愛を放ちつづけるのである。

《人類即神也の宣言文》 2分55秒

私(わたくし)が語ること、想うこと、表わすことは、すべて人類のことのみ。人類の幸せのみ。人類の平和のみ。人類が真理に目覚めることのみ。

故に、私個に関する一切の言葉、想念、行為に私心なし、自我なし、対立なし。すべては宇宙そのもの、光そのもの、真理そのもの、神の存在そのものなり。

地球上に生ずるいかなる天変地変、環境汚染、飢餓、病気・・・・・・これらすべて「人類即神也」を顕すためのプロセスなり。

世界中で繰り広げられる戦争、民族紛争、宗教対立・・・・・・これらも又すべて「人類即神也」を顕すためのプロセスなり。

故に、いかなる地球上の出来事、状況、ニュース、情報に対しても、又、人類の様々な生き方、想念、行為に対しても、且つ又、小智才覚により神域を汚(けが)してしまっている発明発見に対してさえも、これらすべて「人類即神也」を顕すためのプロセスとして、いかなる批判、非難、評価も下さず、それらに対して何ら一切関知せず。

私は只ひたすら人類に対して、神の無限なる愛と赦しと慈しみを与えつけ、人類すべてが真理に目覚めるその時に至るまで、人類一人一人に代わって「人類即神也」の印を組みつづけるのである。

《本心》

地球の未来を輝かす為に

人々が是非共識らなければならぬ事がある

それは御身たちの真実が

御身たちの本心が

肉体生活にまつはる欲望と恐怖と

そして悲哀と憎悪と云ふ

黒い翼に蔽(おお)はれてゐると云ふ事である

それよりも亦(また)一層深く識らねばならない事は

御身たちの本心は

御身たちの真実は

宇宙を動かしてゐる大いなる智慧

無比絶対なるエネルギーの源泉に

其の基を置いてみると云ふ事である

御身たちの本心は常に神と一つであり

御身たちの真実は神から発する光であり

そして御身たちは嘗(かつ)ては

本心そのものであつたと云ふ事である

欲望 恐怖 悲哀 憎悪

さうした業生(カルマ)の想念は

御身たちが神の光の世界から

肉体と云ふ形の世界に自己限定した時から起つたもの

現はれては消え去る大海の泡沫

夢幻が画く一夜の劇

人類が争つてゐるのではない

人間たちが迷つてゐるのではない

争つてゐる想ひが
迷つてゐる想ひが
今消え去らうとして
人類の前を 本心の前を
通り過ぎてゆくところなのだ

御身たちは只黙つて
御身たちの本心が神と座を一つにしてゐる事を想つてゐるがよい
光り輝く神と本心とをみつめつづけるがよい

心を落ちつけ
想ひを静め
只々神の光明を観じてゐるがよい
さうしてゐる時が一番
様々な業生(カルマ)の想念おもひが消え去り易い時なのだ

御身たちよ
消え去る業生(カルマ)を止とどめる事はない
夢幻の苦痛を想ひかへす事はない

御身たちが止めさへしなければ
想ひかへしさへしなければ
業生(カルマ)は再び御身たちの下に戻つてくる事はない

御身たちは今本心そのものである
神の大光明と全く一つのものである
地球の未来を光一色で書き出す者である

<地球世界感謝行>の前のお話

次は、印による地球世界感謝です。人類が神聖を思い出しさえすれば、自然も生きとし生けるものも大調和した様相へと還ってまいりますが、それまでの間、人類全員を代表して、これまでの非礼を詫び、すべての自然や生物に感謝し続けるのだという意識で行なってみてください。

<神聖復活の印>の前のお話

次は、神聖復活の印です。本日のこの時間も、印を組んでいる間中、同じ速さの安定した呼吸のリズムに、動作を合わせることを意識しながらお組みください。約4秒の一定のリズムで行ないますので、守護霊様・守護神様と一緒に印を組んでいる私達が、地球を包み込む一つの大きな光そのものになっていることをイメージしながらお組みください。宣言は無しで行ないますので、「はい」と申し上げたらご一緒に組みください。

<世界平和の祈り>の前のお話し

最後に、世界平和の祈りを日本語と英語で行ないます。このお祈りの間に、内面に意識を向けて、始まる前の意識や体の状態と、今の意識や体の状態の変化を観察してみてください。体のことは細胞さん達

に、精神面のことはご自分の本心さん、守護霊・守護神様に尋ねてみてください。そうしますと、細胞さん達や本心さん、守護霊・守護神様が必要なことを伝えてくださいます。それでは始めます。